

留学の手引き

2026年7月版



南山大学
国際センター事務室



国際センター長からのごあいさつ	2
留学したい！と思ったら	
どんな留学の種類があるのかを知ろう	3
留学目的を明確にしよう	3
留学にあたっての制約を確認しよう	3
留学先を検討しよう	4
先輩の留学体験談をたくさん聞こう	4
国際センター・学内施設等を利用した情報収集	5
派遣留学スケジュール	
派遣留学(長期)のロードマップ	7
派遣留学制度紹介	
中・長期留学制度比較	8
交換留学	8
認定留学	16
休学留学(参考)	18
南山・ディズニープログラム	
プログラムの特徴	19
応募にあたって	19
短期留学プログラム	
国際センター主催短期留学プログラム	21
学部・学科別プログラム	22
学外団体・大学が主催するプログラム	24
語学試験準備	
主要な英語試験について	25
CEFR とは	26
交換留学応募に使える主な英語以外の言語の試験	26
学内選考時のスコア有効期間	27
外国語能力試験受験料補助制度	28
留学のための奨学金	
派遣留学奨学金(学内奨学金)	29
学外奨学金	30
渡航準備のポイント	
滞在先の手配	31
ビザ・滞在許可の取得	31
航空券	31
現地での決済方法	31
海外での危機管理	
留学中に起こり得るトラブル	32
留学中のメンタルヘルス	32
危機管理のために	32
留学と就職活動の両立	33
情報収集に役立つリンク集	33
南山大学学生留学規程	34
FAQ	37
お問い合わせ先	37

「人生を変えるような冒険を！」

国際センター長
ショーン・オコネル
(総合政策学部 教授)



大学での留学は、自分の成長にとって本当に大きなチャンスです！異文化に触れることで、視野が広がり、今まで気づけなかった新しい価値観や考え方を学ぶことができます。しかしながら、留学を成功させるためには、行く前の準備も大切です。必要な手続きや情報収集をしっかりとしておくことで、現地での生活がスムーズに進みます。目標をしっかり決めて、どんな経験をしたいのかを考えておくようにしましょう。

留学中には、挑戦や壁にぶつかることもあるでしょう。でもそれこそが、自分を成長させるチャンスです！英語や現地の言葉を使ってコミュニケーションを取ることで、自分の力を実感でき、達成感も大きくなります。そして、帰国後には、その経験をどう活かすかが重要です。振り返りにより、自分がどれだけ成長したのかを分析し、将来の目標にどう活かすかを考えると留学がもっと意味のあるものになります。人生を変える大きな一歩になるかもしれません。

留学は、ただの学びの場や旅行ではなく、人生を変えるような冒険です。新しい国・地域での生活は、最初はちょっと不安だったり、緊張したりするかもしれません。でも、それを乗り越えることで、自分の強さや柔軟さを実感できるし、どんな困難にも前向きに向き合えるようになります。小さな成功が積み重なることで、自信がついて、次の挑戦も楽しみになります。留学は、学問だけではなく、あなた自身を大きく成長させる最高の経験です。新しい視点を得て、国際的なスキルも身につけることができるからこそ、どんな未来でも大きな力になるはずです。今この瞬間、留学への一歩を踏み出せば、あなたの未来は無限の可能性に満たされます。迷わずその一歩を踏み出して、世界を自分のものにしていきましょう！



どんな留学の種類があるのかを知ろう

南山大学では、皆さんの興味・関心に合わせて様々な留学制度を用意しています。

現地の学生と共に海外の大学
で学ぶ中・長期の学部留学
交換留学
認定留学

語学力を集中的に伸ばす
中・長期の語学留学
交換留学（一部）
認定留学

長期休みを使って異文化
体験できる短期留学
国際センター主催
学部・学科主催

アメリカで学びながら
就業体験ができる
南山・ディズニー
プログラム



この他にも、南山大学の制度を使わず、学外団体や海外大学が主催している留学プログラムに自分で手続きをして参加することも可能です。南山大学を休学して参加する場合は休学留学という扱いになります(→p.17)。

また、第2クォーターの授業および定期試験の期間中に海外へ出発し、第3クォーター開始までに帰国する場合は、第2クォーター在学中在外学習制度を使うことで、休学しないで学外の留学プログラムに参加することができ、さらに現地での履修科目を南山大学の科目に単位認定できる可能性もあります(→p.24)。

留学目的を明確にしよう

数多くある留学の中で自分にぴったりの留学プログラムを選ぶためには、なぜ留学したいと思ったのかを納得行くまで深掘りすることが大切です。明確であればあるほど、留学を頑張る原動力になり、自分自身の成長の指針にもなります。

■例えば…

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| ・語学力を伸ばしたい！ | → 身につけた語学力を使って今後どんなことをしたい？ |
| ・昔から留学に憧れがあった！ | → どんな点に憧れていた？ |
| ・就活に有利になりそう！ | → 留学を通じてどのような強みを磨きたい/弱みを克服したい？ |
| ・専門分野の学びをより深めたい！ | → 留学先でしか学べないことは何？ |

留学にあたっての制約を確認しよう

留学にかけられる費用

留学には、まとまったお金がかかります。ご家族とも事前によく話し合い、留学資金は誰が負担するのか、留学にいくらまで掛けられるのかなどを確認しましょう。留学先国・地域や留学期間等によって、留学費用は大きく異なります。

卒業予定時期

南山大学在籍中に中・長期で留学をする場合、卒業時期に影響する可能性があります。特に、3年次以降に留学を開始する場合は教務課に卒業要件をよく確認する必要があります。留学を理由に卒業が延びることは一般的に社会・企業からマイナスに捉えられることはほとんどないと言われていますが、ご自身のキャリアプランやご家族の意向など、いろいろな考え方がありますので、留学に伴う卒業予定時期の延期の可能性について、事前に必ず確認をしてください。

留学先を検討しよう

留学先を決める要素の例

学びの内容

何をどのように学ぶ？

国・地域、街の環境

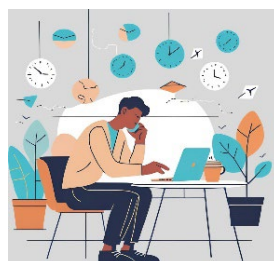
生活面・文化面

大学の評価

ランキング・知名度

費用

物価・学費



先輩の留学体験談をたくさん聞こう

留学経験者による留学促進プロジェクトNaSIPのメンバーによる留学関連イベント、協定校から南山大学にきている留学生などから協定校のことについて話を聞くことができる「留学ビギナーズフェア」など、学内でも留学に関する生の声を聞くことができるイベントがあります。一方的に説明を聞くだけでなく、個別に質問できる機会もたくさんあります。

“NaSIP”の活用

NaSIP(読み方：ナシップ)とは、国際センターの一員として活動する留学経験者による、南山大学の留学・グローバル化を活性化させるための取り組みです。留学を目指す学生を応援するため、留学個別相談や、留学と就職活動を両立させるためのキャリア支援課との共催イベントなど、様々な企画を運営しています。NaSIPの企画は気軽に留学経験者の体験談を聞くことができるチャンスなので、積極的に活用してください。イベントの案内はPORTAのお知らせに掲載します。

また、南山大学国際センター公式Instagram(@nanzan_intl)にてNaSIPからの留学情報を発信しています。過去の投稿はハイライト機能でまとめているので、気になる投稿をぜひチェックしてください。

■活動Pick Up

留学個別相談

「留学に興味はあるけど、どこから準備していいのかわからない」

「留学経験者の体験談を聞いてみたい」

「英語圏以外の留学に興味がある」

など、学生からの質問や相談にNaSIPのメンバーが経験に基づいてお答えしたり、アドバイスしたりします。学生同士で、予約も不要なので、気軽な気持ちで参加できます。

スケジュールは、PORTA、公式Instagram、国際センター事務室前の掲示板でお知らせしています。



国際センター事務室での主なサービス

- ・留学の制度利用に関する相談(随時)
- ・語学試験対策本の貸し出し
- ・留学報告書の閲覧

【留学報告書の掲載事項(一部抜粋)】

- ・留学準備でしておいてよかったこと・しておけばよかったこと
- ・履修した授業と感想
- ・留学にかかった費用
- ・これから留学に行く後輩へのアドバイス 等

…他にも様々な情報が記録されています。

2021年度以降に派遣実績のある協定校の留学報告書は、Webの協定校情報ページにも掲載しています。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/from-nanzan/partners/>

それより前の報告書は、国際センター事務室内でのみ閲覧できます。



学部1年生向け留学アドバイジング(完全事前予約制)

学部1年生を対象に、留学の準備や留学先の選び方、語学試験の勉強方法などを留学アドバイザーの先生に個別相談できる機会を設けています。予約方法は、クォーターごとにPORTAでお知らせします。

※学部2年生以上の学生は、まずは留学先で学びたい内容を踏まえて指導教員など所属学科の先生に相談してください。



外国人留学生との交流

世界各地から南山大学に学びに来ている留学生との交流から、留学のヒントを得られることもあります。学内施設等を利用して積極的に交流してみてください。それぞれ、イベントや参加者の募集を行う際はPORTAのお知らせに掲載します。



・多文化交流ラウンジ(愛称: Stella)@R棟2階(地上階)

言語の制限なく多文化交流できる場所

・ワールドプラザ @R棟2階(地上階)

外国語のみ使用が許可される多文化交流施設

・ジャパンプラザ @R棟2階(地上階)

日本語だけを使用して留学生と交流できる空間

・Language Buddy

外国人留学生別科生とペアになり、お互いの言語や文化について理解を深める制度

・国際学生宿舎

世界各国・地域の学生たちと共に暮らし学びあう中で、国際感覚を養うことができる場

COIL型授業や外国語で学べる授業の受講

外国語のみで行われる授業や海外の学生と一緒に学ぶ授業を体験しておくことも、留学準備の一つです。南山大学には、国内にいてもそのような環境を体験できる授業を多数用意しています。

多様な文化背景をもつクラスメイトと学ぶ

南山大学の「国際共修」

＜特設 Web ページ＞ <https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/on-campus/joint/>

■ COIL型授業

COIL(Collaborative Online International Learning)とは、オンラインで海外の大学とつながり、協働学習をおこなう教育手法です。南山大学では、共通教育科目から学部・学科の専門領域にわたる様々な授業科目でCOILを取り入れています。まさに「世界中にクラスメイトをつくる授業」と言えるでしょう。

＜授業の探し方＞ シラバス検索 ⇒ アクティブラーニング プルダウン ⇒ 「COIL手法」を選択

■ 外国語で学べる授業

外国語の“語学科目”ではなく、アカデミックな内容を外国語のみを使用して学ぶ科目は、長期留学に挑戦する学生の最終準備の場として活用することができます。また、外国語運用能力に不安がある学生も、この授業を通して、留学における授業のシミュレーションができます。

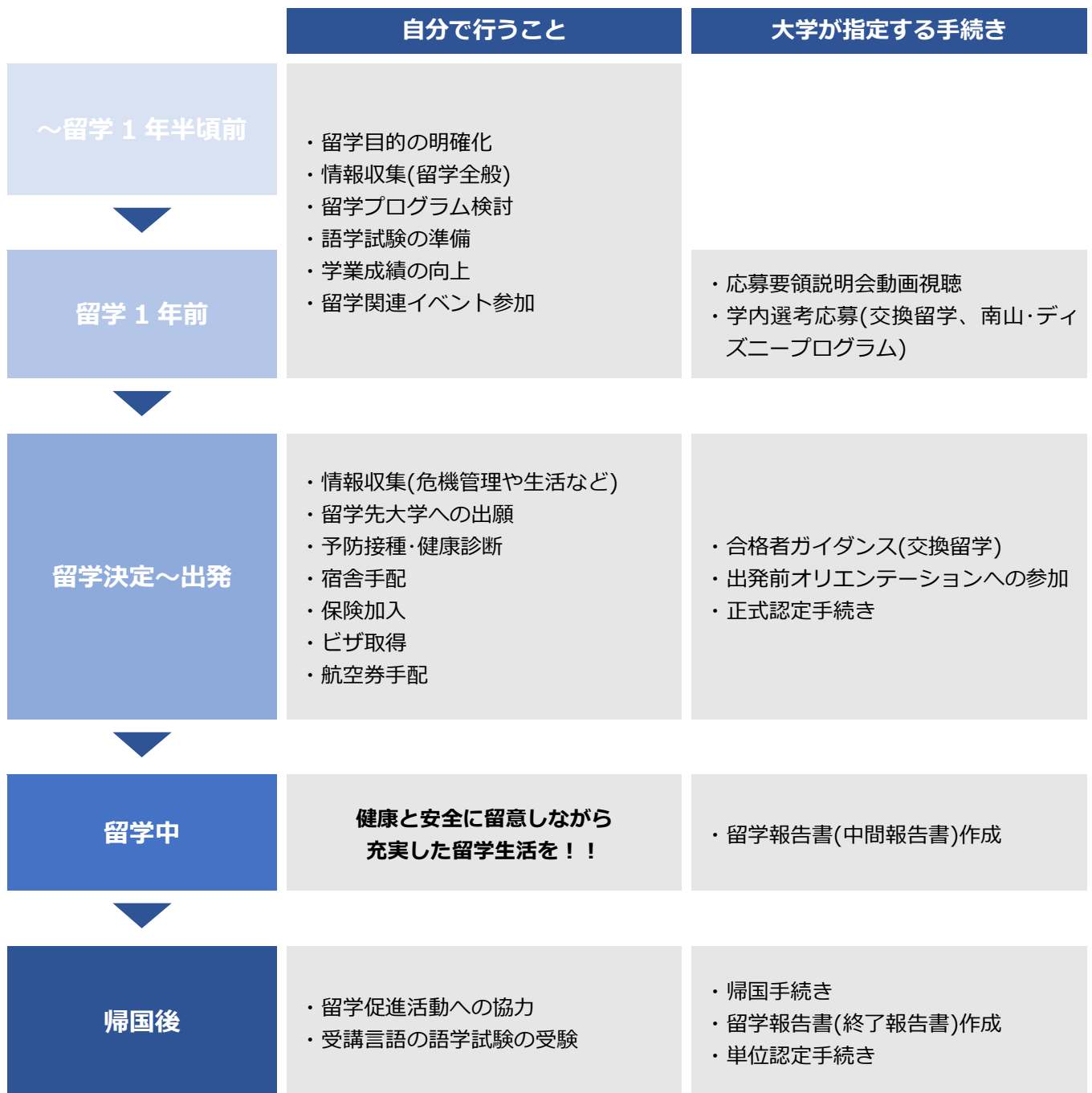
これらの授業の探し方は、以下の教務課Webページを参照してください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/KYOUMU/course-class/class11.html>

■ CJSオープンコース

CJSオープンコースは、外国人留学生別科生にも開かれた学部・学科の授業です。留学生とのディスカッショングループで様々なアイデアを共有し、課題や研究プロジェクトに協力し、プレゼンテーションをすることを通して知識とともに交流も深められます。

派遣留学(長期)のロードマップ



中・長期留学制度比較

一目で分かる制度比較表

南山大学に在籍しながら長期留学をする場合は、以下の3通りの方法があります。

	交換留学	認定留学	休学留学
学ぶ内容	主に、外国語でアカデミックな内容を学ぶ。 (一部語学コースあり)	外国語でアカデミックな内容を学ぶか、語学コースで外国語を学ぶ。	自由
留学期間	1セメスター または 2セメスター	最短3ヶ月(90日)～最長2年 ※留学期間が1年を超える場合、卒業が延びます	自由
留学先大学	協定校・コンソーシアム加盟校	各国で認可を受けた大学またはその付属語学学校	自由(大学・語学学校・インターン・専門学校等、問わない)
学内選考	あり	なし	なし
留学先の授業料	協定に基づき免除	留学先や留学エージェントからの請求に応じて納入必要	留学先からの請求に応じて納入必要
南山大学の授業料	要(通常在学時と同様)	要(通常在学時と同様)	不要(在籍料のみ必要)
派遣留学奨学金	応募可能	応募可能	応募不可
単位認定申請	可	可	一部可
学籍の取扱い	留学(休学扱いにならない)	留学(休学扱いにならない)	休学

交換留学

海外の大学へ約半年または約1年留学をする学生が最も多く利用する留学制度です。毎年7～12月に留学が開始する「秋派遣」と1月～6月に留学先プログラム期間が開始する「春派遣」の年2回、募集を行っています。4月入学の場合、最短で2年次の秋からの留学が可能です(その場合の学内選考応募は1年次の11月頃になります)。

それぞれの募集回で、「交換留学応募要領説明会」の動画が公開され、**応募には自身が留学を希望する時期の応募要領説明会動画を視聴することが必須**です。

応募要件一覧

- (1) 留学の認定(正式認定)^{※1}の申請時点までに、本学に1年以上在学する見込みがあること。
- (2) 留学目的および留学計画が適切であること。
- (3) 学業成績および人物考課が優秀であり、全科目の「通算GPA^{※2}」が2.0以上であること
- (4) 希望大学の応募条件として語学試験の結果(スコア)が必要な場合、所定期間内^{※3}に取得済み、かつ学内選考受付時に試験結果(スコア)の写しを提出できること。
- (5) 保証人^{※4}および指導教員の承諾を得ていること。
- (6) 南山大学および留学先大学から求められる書類を、正確かつ丁寧に記入し、遅延なく提出できること。
- (7) 「南山大学学生留学規程」を遵守し、関連する委員会や組織が定める原則、ならびに指導に従うこと。
- (8) 「承諾書」の事項をすべて理解し遵守すること。
- (9) 留学の正式な決定は、学内選考の通過だけではなく、留学先大学からの合格通知(入学許可)をもって決定となる旨を理解していること。

- ※1 学内選考に通過した学生を「南山大学の派遣留学生」として認めるために必要な学内手続きのこと。例年、秋派遣の場合は学内選考通過後の4月頃、春派遣の場合は10月頃に申請します。
- ※2 秋派遣の場合は入学時から応募時点の年度の春学期(Q2)まで、春派遣の場合は入学時から応募時点の前年度の秋学期(Q4)まで。GPAはPORTA内「単位数集計表」で確認できます。
- ※3 募集時期・年度により期間は異なります。
- ※4 PORTAに登録されている保証人。(副保証人は不可)

■ 応募要件に関するその他の注意点

- ・ 交換留学に応募する時点から交換留学から帰国するまで、休学することはできません。
- ・ 一度交換留学をしたことがある学生は、二度目以降の応募はできません。認定留学は可能です。
- ・ 次に該当する学生は、応募に際し前提条件を確認する必要があるため、応募を検討している段階でお早めに国際センター事務室へ相談してください。

☐ 外国人留学生 ☐ 大学院生 ☐ 留学先大学に合理的配慮を希望する学生

学ぶ内容

交換留学では、基本的には「外国語でアカデミックな専門科目を学ぶ」ことを主旨としています(=学部留学)。ただし一部、語学コースを提供している大学もあります(=語学留学)。協定校によって、交換留学生に提供される学部や分野、科目の範囲は異なります。これらの最新情報は、「大学別募集条件一覧」で確認してください。

留学の長さ

■ 学期数の考え方

交換留学では、1セメスター(約半年)または2セメスター(約1年)の選択肢があります。「セメスター」とは、2学期制の「学期」のことです。

原則、各大学の学年暦(アカデミックカレンダー)を跨がない期間の中で募集を行います。そのため、秋派遣では、学年暦が秋に始まる国・地域の大学を1セメスターまたは2セメスターで募集し、学年暦が春に始まる国・地域の大学は1セメスターのみの募集となります。一方春派遣では、学年暦が春に始まる国・地域の大学を1セメスターまたは2セメスターで募集し、学年暦が秋に始まる国・地域の大学は1セメスターのみの募集となります。ただし留学先大学によってはこの限りではありません。

秋派遣と春派遣の募集対象の違い

世界的には、学年暦が秋に始まる国・地域が主流のため、交換留学の募集も、秋派遣のほうが例年募集人数の規模が大きくなります。

特に2セメスターの留学を希望している場合は、それぞれ希望先の国・地域によって秋派遣・春派遣のどちらに応募するかが自動的に決まってきます。稀に、大学がその国・地域の主なアカデミックカレンダーに則らずに個別にアカデミックカレンダーを設定している場合もあります。

■ 参考

＜学年暦が秋に始まる国・地域の例＞

北米全域 / ヨーロッパ全域 / 中東(トルコ・イスラエル) / アフリカ(エチオピア) / 東アジアの多く(中国・香港・台湾) / 東南アジア全域 / プエルトリコ / メキシコの一部

＜学年暦が春に始まる国・地域の例＞

南アフリカ / 韓国 / 中南米の多く(一部例外あり) / オーストラリア

■ 留学先プログラム期間（認定留学も同様）

留学先プログラム期間は以下の通り定義され、具体的な日程は、留学先大学によって異なります。

【留学先プログラム期間 開始日】

留学先大学のオリエンテーションや Welcome イベント等、現地で実施される受入留学生向けイベントの初日/授業開始日のうち、いずれか早い日付

【留学先プログラム期間 終了日】

留学先大学の大学全体の試験最終日または授業最終日/レポートの提出期限のうち、いずれか遅い日付

■ 学籍上の「留学期間」(認定留学も同様)

派遣留学中は、学籍が「在学」から「留学」となり、南山大学の授業を履修することができません。学籍上の「留学期間」は、留学先プログラム期間によって区分されます。

秋派遣	1セメスター留学	第3クォーター開始日～第4クォーター終了日
	2セメスター留学	① 翌年度第2クォーターの授業開始後登録変更期間最終日までに留学先プログラム期間の終了日が到来する → 第3クォーター開始日～第1クォーター終了日 ② 翌年度第2クォーターの授業開始後登録変更期間最終日より後に留学先プログラム期間の終了日が到来する → 第3クォーター開始日～第2クォーター終了日
春派遣	1セメスター留学	第1クォーター開始日～第2クォーター終了日
	2セメスター留学	① 第4クォーターの授業開始後登録変更期間最終日までに留学先プログラム期間の終了日が到来する → 第1クォーター開始日～第3クォーター終了日 ② 第4クォーターの授業開始後登録変更期間最終日より後に留学先プログラム期間の終了日 → 第1クォーター開始日～第4クォーター終了日

このルールを基に大学が定める学籍上の留学期間と留学先プログラム期間が大きく乖離する場合などには、特例的に学籍上の留学期間を別途設定できる可能性もあります。

留学先大学

南山大学の「協定校」(→p.14～15)または、南山大学が加盟している「コンソーシアム」の加盟校に留学することができます。最新の協定校ラインナップは、国際教育 Web ページに掲載しています。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/from-nanzan/partners/>

ただし、毎回すべての協定校の募集を行うわけではありません。募集回ごとに調整したうえで、募集する内容を「大学別募集条件一覧」にまとめています。

■ 大学別募集一覧とは

応募する募集時期の留学先大学および語学試験スコア基準等の各募集条件は「大学別募集条件一覧」で確認します。前述のとおり募集時期ごとに内容の見直し・変更が入ります。以下の通り参考のために過去分を公開していますが、応募時は必ずその募集時期の最新の「大学別募集条件一覧」をご確認ください。

秋派遣・春派遣の直近1回分の掲載Webページはこちら

<https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/from-nanzan/types/exchange.html>

■ 大学別募集条件一覧の掲載事項の見方

募集人数	0.5 = 1セメが1人 (1=2セメ(1年)が1人 または 1セメが2人分) で計算
1セメあたり上限人数	その募集時期で一度に採用できる人数の上限
期間	記載されている期間のみ選択可能
留学種類	「学部」：学部の授業を履修 (履修言語の欄の外国語「で」勉強) 「語学」：語学コースの授業を履修 (履修言語の欄の外国語「を」勉強) 「大学院」：大学院の授業を履修 (履修言語の欄の外国語「で」勉強)
語学条件	記載の語学試験スコアのいずれかを満たしている必要がある
語学力確認書	○の場合、記載の語学試験のスコアに代えて、「要件を満たす語学力がある」ことを証明する確認書の提出をもって、語学条件を満たしたとみなす ※英語以外の言語のみ
注意事項	応募にあたり必ず知っておくべきこと (例：履修・学年・国籍の制限等)
履修不可コース	留学先で履修することができない科目等

コンソーシアム加盟校とは

南山大学は2つのコンソーシアムに加盟しています。協定校への留学と同じ交換留学制度で、各コンソーシアムに加盟している大学を留学先大学として希望することが可能であるため、選択肢が広がります(ただしコンソーシアムを選択する場合本学の協定校への応募は不可)。

それぞれ学内選考通過時には留学先大学は決定しておらず、その後に改めて留学先大学の選定・プレースメントが行われて留学先大学が決定します。そのため、学内選考に通過しても、希望先大学へプレースメントされない可能性や、受け入れが認められない可能性もあります。

■ ISEP(アイセップ) <https://isepstudyabroad.org>

世界51カ国300以上の加盟校間で学生交換を推進する非営利法人の全世界的なコンソーシアム。秋派遣が主軸のため、春派遣で募集がある場合は1セメスターのみ。



【特徴1】学部留学のみ(語学留学不可)。

【特徴2】 ISEP事務局への諸経費に加え、留学先国・地域、大学に関わらず、寮費・食費として以下の金額を支払います。
金額は変動しますので、各募集時期の応募要領説明会に参加して最新の金額を確認してください。
(参考：2026年秋派遣時…1セメスターにつき450,000円(一律))

ISEP Webページでの大学検索の方法はこちら：

https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/from-nanzan/types/item/exchange_01.pdf

■ UMAP(ユーマップ) <https://umap.org/>

アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的とした約500校のコンソーシアム。

【特徴1】学部留学のみ(語学留学不可)。

【特徴2】 募集する期間は1セメスター(Program A)のみ。

【特徴3】 アメリカの加盟校への留学は不可。

【特徴4】 UMAP奨学金への応募のチャンスあり。



学内選考

交換留学はそれぞれの協定校に募集人数枠が定められているため、原則、応募学生の中から相対評価で留学先大学の割り当てを行います。そのため、**希望する留学先大学へ留学するには、その大学が定める語学要件を満たす他、学内選考に応募し、採用される必要があります。**

応募時は、複数の大学※を希望大学として記入することができます。希望大学として挙げられた大学はすべて割り当ての可能性がありますので、採用されたら必ず留学をする大学のみ記入するようにしてください。

※協定校留学またはISEP型交換留学で受講言語に英語を含む場合は 第10希望まで、受講言語が全て英語以外/UMAP型交換留学の場合は第5希望まで

学内選考では、応募フォームの中で留学の志望理由等を回答するほか、動画レポートも課されます。また、受講言語が日本語・英語以外で語学試験結果をもって要件を満たしていることが確認できない学生を対象に語学面接を実施します。

以上を踏まえ、以下の選考原則に則り、派遣先留学が決定します。

選考原則

応募学生全員を学内成績(GPA)に基づき順位付けした上で、以下の割り当て原則によって1位から順に希望上位の留学先大学を割り当て、総合的判断で最終決定します。

■選考1巡目

応募先大学の受講の条件となる語学試験の結果(スコア)を取得している者

※取得していれば、スコアの優劣は評価対象外

ただし、割り当て時点で希望順位の最も高い大学の応募に「語学力確認書」を用いた場合は割り当て2巡目以下がる

■選考2巡目

語学試験の結果(スコア)の代わりに「語学力確認書」で応募している者

(大学別募集条件一覧の「語学力確認書」欄が○の場合のみ)

授業料

交換留学の場合、南山大学と協定校・コンソーシアム間での取り決めにより、**留学先大学での出願料・授業料は免除**となります。留学中は、南山大学に授業料を納入します。

その他の諸費用(渡航費、保険料、滞在費、食費等)は自己負担となります。ISEP型留学の場合は例外的に寮費・食費として一律の料金が定められています。(→p.11)

単位の取り扱い(認定留学も同様) ※単位認定の管轄は教務課です

南山大学の派遣留学制度で留学する場合、留学先大学で修得した単位で申請条件を満たしたものについては、帰国後に単位認定申請が可能です。単位認定は、学内会議体等における審議を経て認定可否が決定されます。

原則、留学先大学等で履修した科目に合格していること、留学先大学で履修した科目の内容および時間数が南山大学の科目の内容および時間数と合致することが単位認定の条件です。

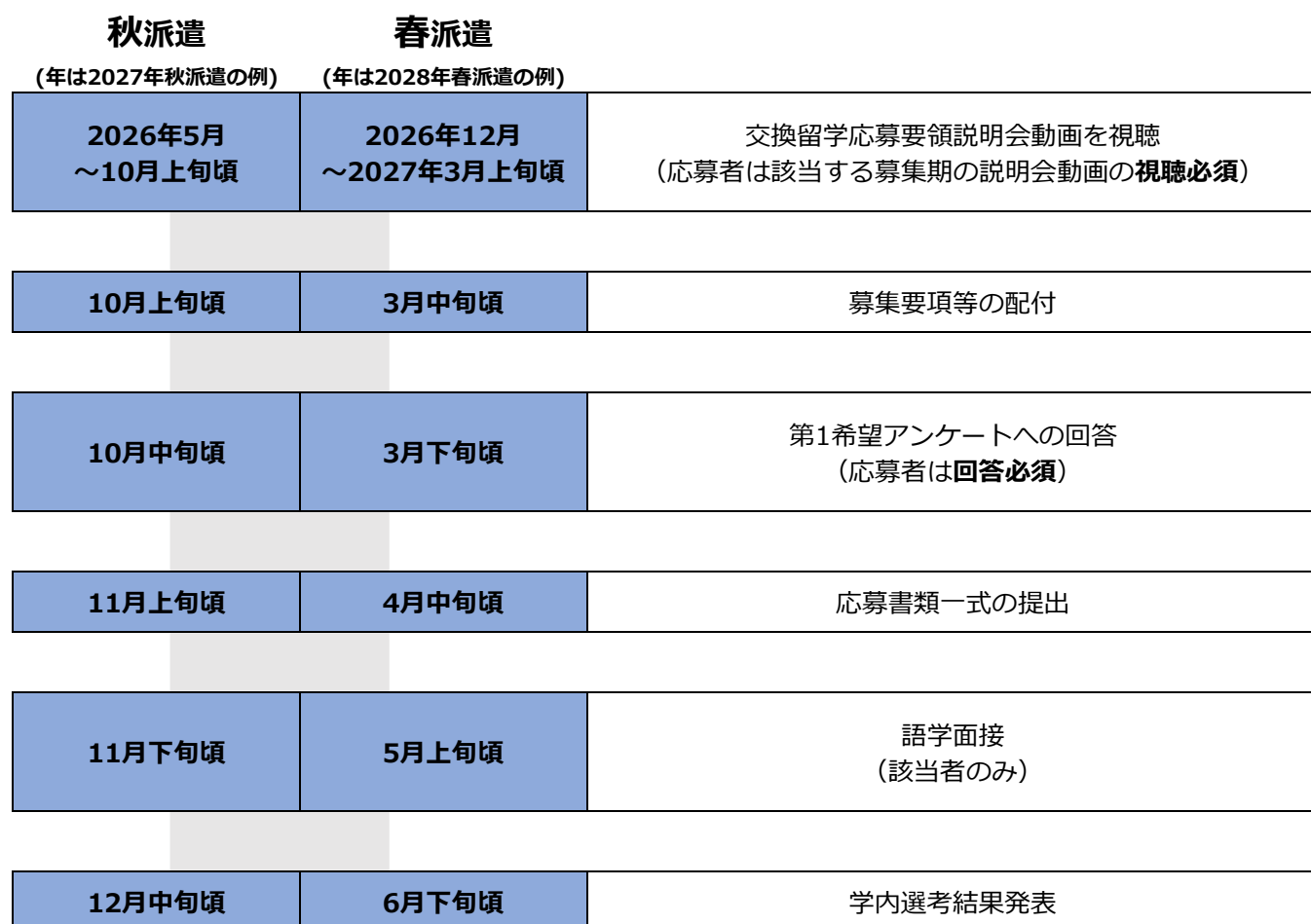
過去の単位認定の実例はPORTAの単位認定実例照会から参照することができます。ただし、これらはあくまでも過去の事例であるため、参考にとどめてください。カリキュラムや認定基準が変更されていることもあり、過去の事例とまったく同じ内容で認定されるとは限りませんのでご注意ください。

派遣留学により修得した単位の詳細については以下の教務課Webページを参照してください。その際、Webページ内の「学部・学科別 単位認定の方法」の項目も必ず確認してください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/KYOUNU/credit/cr-exchange02.html>

まとめ：学内選考までの応募の流れ

それぞれの具体的な受付期間・期日・実施日等は、交換留学応募要領説明会動画や募集要項にてご確認ください。
交換留学に採用された学生は、選考結果発表後の時期に「合格者ガイダンス」、留学開始直前の時期に「出発前オリエンテーション」へ出席することが必須です。



協定校一覧

南山大学は世界41の国と地域にある140大学と交換留学のための協定を締結しています(2026年7月時点)。

<北米>

■アメリカ

University of Central Arkansas
The University of Iowa
Arizona State University
Illinois State University
DePauw University
Indiana University, Bloomington
University of Notre Dame
Purdue University
Purdue University, Northwest
University of Wisconsin-Madison
University of Wisconsin-Milwaukee
The University of Oklahoma
Bowling Green State University
University of Cincinnati
John Carroll University
The Ohio State University
Pacific University
California State University, Fullerton
California State University, Monterey Bay
University of Redlands
San Diego State University
Northern Kentucky University
University of North Georgia
University of North Texas
Saint Peter's University
Queens College, the City University of New York
Nazareth University
University of Nebraska-Lincoln
The University of North Carolina at Chapel Hill
James Madison University
University of Hawaii at Hilo
University of Hawaii at Manoa
Eckerd College
Dickinson College
University of Massachusetts Amherst
Oakland University
University of Missouri
Saint Louis University
University of Maryland, Baltimore County
Notre Dame of Maryland University
American University
Georgetown University
The George Washington University

■カナダ

Carleton University
Algoma University
University of Victoria
University of Quebec in Montreal

<中南米>

■アルゼンチン

Catholic University of Cordoba
University of Salvador

■ウルグアイ

Catholic University of Uruguay

■コロンビア

University of the Andes
Pontifical Xavier University

■チリ

Pontifical Catholic University of Chile
University of Santiago de Chile

■ドミニカ共和国

Mother and Teacher Pontifical Catholic University

■プエルトリコ (米国自治連邦区)

Pontifical Catholic University of Puerto Rico

■ブラジル

University of Brasilia

■ペルー

Pontifical Catholic University of Peru

■メキシコ

University of Guanajuato
Autonomous Technological Institute of Mexico
Popular Autonomous University of the State of Puebla

<アフリカ>

■エチオピア

Jimma University

■南アフリカ

Stellenbosch University

■モロッコ

Al Akhawayn University in Ifrane

<オセアニア>

■オーストラリア

The Australian National University
Macquarie University
Griffith University

<ヨーロッパ>

■イギリス

The University of Edinburgh
Newcastle University
University of East Anglia
The University of Manchester
Lancaster University
University of Leeds
Birkbeck College, University of London
Regent's University London
SOAS University of London

■イタリア

University of Naples L'Orientale
Ca' Foscari University of Venice
University of Bergamo
Sapienza University of Rome
University of Bologna

■オランダ

Amsterdam University of Applied Sciences
Zuyd University of Applied Sciences

■スウェーデン

Stockholm University

■スペイン

The University of Santiago de Compostela
Pontifical University of Salamanca ※授業料免除なし
University of Salamanca
Autonomous University of Barcelona
Autonomous University of Madrid

■チェコ

Metropolitan University Prague
Masaryk University

■デンマーク

University of Copenhagen

■ドイツ

Heinrich Heine University Duesseldorf
The University of Bamberg
Hochschule Bremen City University of Applied Sciences
Free University of Berlin
Leipzig Graduate School of Management
University of Regensburg

■ノルウェー

University of Oslo

■ハンガリー

Eotvos Lorand University

■フランス

University of Orleans
École de Management Bretagne Atlantique (EMBA)
Toulouse Catholic University
National Institute of Oriental Languages and Civilizations (INALCO)
Aix-Marseille University
■ベルギー
Free University of Brussels
Ghent University

■ルーマニア

University of Bucharest

■ポーランド

Jagiellonian University

■リトアニア

Vytautas Magnus University

■ロシア

Pacific National University

<アジア/中東>

■韓国

Yonsei University (延世大学)
Soongsil University (崇実大学)
Sungshin Women's University (誠信女子大学)
Hannam University (韓南大学)
The Catholic University of Korea (韓国カトリック大学)
Changwon National University (昌原大学)
Hanyang University ERICA (漢陽大学 ERICA)
Korean National Police University (韓国国立警察大学)

■台湾

Fu Jen Catholic University (輔仁大学)
Wenzao Ursuline University of Languages (文藻外語大学)
Providence University (靜宜大学)

■中国・香港

East China Normal University (華東師範大学)
Chongqing University of Posts and Telecommunications (重慶郵電大学)
Qinghai Minzu University (青海民族大学)
Nanjing Normal University (南京師範大学)
The Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)
The Hang Seng University of Hong Kong (香港恒生大学)

■インドネシア

University of Indonesia
Padjadjaran University

■タイ

Khon Kaen University
Thammasat University

■フィリピン

Ateneo de Manila University
College of San Juan de Letran Calamba
University of San Carlos

■マレーシア

University of Science, Malaysia

■ベトナム

University of Social Sciences and Humanities, Vietnam
National University Ho Chi Minh City

■カンボジア

Royal University of Phnom Penh

■トルコ

Canakkale Onsekiz Mart University

■イスラエル

The Hebrew University of Jerusalem

認定留学

各国で認可を受けた四年制大学またはその付属語学学校に留学することができます。留学先大学への出願手続きは国際センターを通じてではなく、自分で行います。

また、認定留学中の学籍は「留学」となり、休学せず認定留学の期間を卒業年限に含めることができます。ただし丸1年以上認定留学をする場合は、4年間で卒業はできません。

要件

- ・正式認定の申請時点までに、本学に1年以上在学する見込みがあること。
- ・留学目的および留学計画が適切であること。
- ・保証人および所属学科より承認を得ること。
- ・南山大学および留学先大学から求められる書類を、正確かつ丁寧に記入し、遅延なく提出できること。
- ・「南山大学学生留学規程」を遵守し、関連する委員会や組織が定める規則、ならびに指導に従うこと。
- ・「承諾書」の事項をすべて理解し遵守すること。
- ・留学の正式な決定は、留学先大学からの合格通知(入学許可)をもって決定となる旨を理解していること。

学ぶ内容

自分の関心やレベルに応じて語学科目を履修するコース、学部等の科目を履修するコースを選べます。各大学の特徴や提供コースについては、自分でお調べください。

留学期間

3ヶ月(=90日)以上 2年未満

(留学先大学のアカデミックカレンダーや入学許可書に記載の日付に則って留学先プログラム期間および学籍上の留学期間を認定します)

留学先大学

世界大学年鑑(World Higher Education Database)に掲載されている四年制大学またはその付属語学学校
<https://www.whed.net/home.php>

※四年制大学ではありませんが、フランスのAlliance FrançaiseとCAVILAM、ドイツのGoethe-InstitutとIHKは、例外的に認定留学の留学先にすることが可能です。

単位の取り扱い

単位認定の取り扱いは交換留学と同様です(→p.12)

授業料・学生納入金

留学期間中は、留学先大学への授業料の他、南山大学への授業料も納入する必要があります。

学内手続きの流れ

正式認定の条件を満たし期日内に正しく手続きをすれば、南山大学からの認定を得ることができます。交換留学生の「正式認定手続き」と同じタイミングで認定留学生の手続きを受け付けます。それぞれの受付期間・期日はPORTA や手続き要項でご確認ください。

認定留学の場合の留学先大学への出願手続きは、南山大学を通じて行うものではありません。

直接出願でも留学エージェント(留学先情報の提供や留学手続きを仲介する業者)経由でもどちらでも大丈夫ですが、いずれの場合も手続き期日を確認の上、各自でするべきことを行ってください。

(年は2027年秋派遣の例)

(年は2027年春派遣の例)

秋派遣

春派遣

2026年12月中旬 ～2027年3月上旬	2026年6月中旬 ～9月中旬頃	認定留学の応募要領説明資料を熟読
3月頃	9月頃	PORTAに掲載された認定留学希望受付に関する案内に従い 募集要項等を入手
4月中旬頃	10月上旬頃	国際センター事務室窓口へ 正式認定手続き書類一式を提出
6月下旬頃	11月下旬頃	派遣留学の正式認定の通知を受領

★国際センター事務室へ所定の期間内に希望する旨を申し出る必要あり！
この時期は必ずPORTAをよく確認してください。

休学留学(参考)

南山大学を休学して、休学中に留学します。留学先も学ぶ内容も留学期間も自由にプランニングして自分で手続きを進める、最も自由度の高い留学です。

なお、休学期間に応じて卒業が半年単位で延期されます。

授業料・学生納入金

休学期間中、留学先の大学への授業料は必要ですが、南山大学の学納金は全額免除されます。ただし、在籍料として1クォーターにつき25,000円の納入が必要です。詳細は、学生課厚生係までお問い合わせください。

○学生課厚生係：C棟2階 kousei-kakari@nanzan-u.ac.jp

単位の取り扱い

本学で単位認定対象と認められた海外の大学またはその付属語学学校への留学の場合は、一部単位認定申請ができる可能性があります。

なお、単位認定申請をするには、留学出発前に学内で実施される出発前オリエンテーションに参加する必要があります。

学内手続き(休学)の流れ

まずは指導教員および保証人と相談し、休学について了承を得てください。その後、学生課窓口で休学願等を受け取り、休学の申請期限までに提出してください。申請期限は、休学を希望するクォーターまたは学期の開始日の前日(事務休業日を除く)までとなります。提出後、各教授会や研究科委員会で審議が行われ、休学の承認が得られた後、学生本人に休学許可通知を郵送します。(休学願提出から休学許可通知の到着まで、1ヶ月程度かかります)

○参照：学生課Webページ 休学について

<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/campus-life/status01.html>

私費留学のヒント

■SAF

Study Abroad Foundation(SAF)は、2000年にアメリカインディアナ州の認可非営利機関として設立された国際留学支援団体で、10ヶ国に提携大学を持ち、アジアの大学生の留学をサポートしています。南山大学では定期的にSAFの説明会を実施しており、利用する学生も多くいます。

■留学斡旋団体を利用する場合の注意点

SAFのような留学先探し・留学手続きをサポートする留学斡旋団体(留学エージェント)は他にも多くありますが、中には費用が相場よりもかなり高額であったりサポートが不十分であったりするような団体も残念ながらあるようです。留学斡旋団体の利用の際は、複数の会社・団体を比較し慎重に判断しましょう。

○参照：https://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/basic/agency.html

■留学費用の目安

留学費用は留学エージェントや留学先、滞在期間・都市によって大きく異なります。以下の費用は参考程度にとどめ、自分で十分に確認しましょう。

<アメリカ> 公立4年制大学:\$31,880(授業料)+\$19,040(住居・食費など)

私立4年制大学:\$45,000(授業料)+\$20,470(住居・食費など)

<イギリス> 大学(学部)留学 £11,400~£38,000/年+£900~£1,400/月(住居・食費等)

出典：留学ガイドブック「わたしがつくる海外留学」

プログラムの特徴

アメリカ・フロリダ州にあるValencia Collegeでビジネスやコミュニケーションに関連する授業を履修しながら、Walt Disney World Resort®でフルタイムの就業体験を行う、約5ヶ月間のプログラムです。

○参照：

①Valencia's International College Program with Academic Training at the Walt Disney World Resort

<https://valenciacollege.edu/students/exchange/college-program/index.php>

②Disney International Program

<https://jobs.disneycareers.com/disney-programs#international>

ポイント

Point 1：語学力を生かして、海外での働き方を理解することができる！

Point 2：世界的に有名なエンターテインメント業界で実際に働く経験ができる！

Point 3：給与が支給されるため、留学費用の負担を軽減できる！

プログラム費用

3,806 USD (2026年春派遣募集時点)

※内訳：Application fee, Tuition and fees, Insurance, Assessment fee (Activities & Housing)

※一方、収入としてWalt Disney World Resortでの就業に時給約18USD程度の給与が支給されます。

応募にあたって

留学の種別

南山・ディズニープログラムに参加する場合は、認定留学または休学留学の扱いとなり、参加者は希望する方を選択することが可能です。4月入学の場合、最短で2年次の8月からの留学が可能です。

応募時の主な要件

<成績要件>

南山大学の通算GPA2.0以上

<語学要件>

参加希望の学生は、本学の指定する期間に受験した以下の**いずれかの**語学試験のスコアを満たす必要があります。(2026年4月時点の情報のため、今後変更の可能性あり)

- ・ TOEIC 公式テスト(Listening & Reading)：700 点以上 ※TOEIC-IP テストスコアは不可
- ・ TOEFL iBT：4.0(旧スコア：71)以上 ※My Best Score、TOEFL-ITP テストスコアは不可
- ・ IELTS：6.0 以上

<その他>

交換留学に応募する学生は、同じ時期に募集する南山・ディズニープログラムに応募することはできません。その逆も然りで、南山・ディズニープログラムに応募する学生は、同じ時期に募集する交換留学の学内選考に応募することはできません。

学内・学外手続きの流れ

(年は2028年春派遣の例)

春派遣 = 2月出発

(年は2027年秋派遣の例)

秋派遣 = 8月出発

2026年12月中旬 ～2027年3月上旬頃	2026年5月中旬 ～8月中旬頃	南山・ディズニープログラム応募要領説明会動画を視聴 (応募者は該当する募集期の説明会動画の視聴必須)
4月上旬	9月中旬頃	応募書類一式の提出
4月中旬	9月下旬頃	学内一次(書類)選考結果発表
4月下旬	10月上旬頃	学内二次(面接)選考受験
5月下旬～6月上旬	11月上旬頃	学内選考結果発表
7月以降	12月以降	語学力確認試験(Versantテスト)受験、Disneyへ出願
8月以降	2027年2月以降	Valencia Collegeによるプログラム説明会参加 Disneyによる面接受験
8月以降	2月以降	最終選考結果発表

春休みや夏休みの長期休みを利用して参加できる短期留学プログラムは、中・長期留学はハードルが高いけど海外を自分の目で見て学びたい方にピッタリです。学外団体が主催するプログラムもありますが、ここでは南山大学が主催するプログラムをご紹介します。

国際センター主催短期留学プログラム ※南山大学短期留学特別給付奨学金対象

プログラム概要(2025年度実績)

【夏 季】

■Malta University

マルタ唯一の国立大学であるマルタ大学の付属語学学校で、スピーキング能力を重点的に鍛えながら英語4技能を学ぶプログラムです。文法・語彙・発音などのサブスキルも併せて向上させることができます。プログラム中は、海外からの留学生や現地の学生が暮らす大学の学生寮に滞在します。マルタならではの歴史的建造物や美しいビーチ、ショッピングセンターにもバスで気軽に出かけられます。

- ・国・地域：マルタ共和国
- ・研修校：Malta University Language School
- ・研修期間：2025年8月16日(土)～2025年9月8日(月) 24日間
- ・参加費用：約88万円(燃油サーチャージ・空港税含む)
- ・募集人数：20名(最少催行人数10名)
- ・宿泊・食事：学生寮・食事は各自



【春 季】

■The University of Auckland

ニュージーランドのオークランドにて、日常生活や仕事の場面で役に立つ英語を学ぶプログラムです。レベル別に分けられたクラスで、スピーキング・リスニング・リーディング・ライティングをバランスよく学習しながら、コミュニケーション能力を伸ばします。ホームステイ先でフレンドリーなホストファミリーと生活することで、ニュージーランドの文化を身近に感じられるとともに、実践的な英会話の練習もできます。

- ・国・地域：ニュージーランド・オークランド
- ・研修校：The University of Auckland English Language Academy
- ・研修期間：2026年2月7日(土)～2026年3月8日(日) 30日間
- ・参加費用：約92万円(燃油サーチャージ・空港税含む)
- ・募集人数：20名(最少催行人数10名)
- ・宿泊・食事：ホームステイ(寝室1人部屋・平日2食/週末3食付)



■University of North Georgia

留学前に現地学生とオンラインで協働学習し、グループワークやプレゼンテーション準備を進めて現地研修で発表する機会があります。事前に交流してから渡航するため、約2週間という短期研修でありながら初日から学生同士の活発な交流が始まり、学びが深まることも本プログラムの魅力です。現地の学生たちとたくさん交流したい人におすすめです。都会から離れ、自然に囲まれた、ゆったりとした環境で勉強することができます。

- ・国・地域：アメリカ合衆国・ジョージア州
- ・研修校：University of North Georgia
- ・研修期間：2026年3月15日(日)～2026年3月30日(月) 16日間
- ・参加費用：約57万円(燃油サーチャージ・空港税含む)
- ・募集人数：15名(最少催行人数10名)
- ・宿泊・食事：大学近隣の宿泊施設(原則2人部屋)

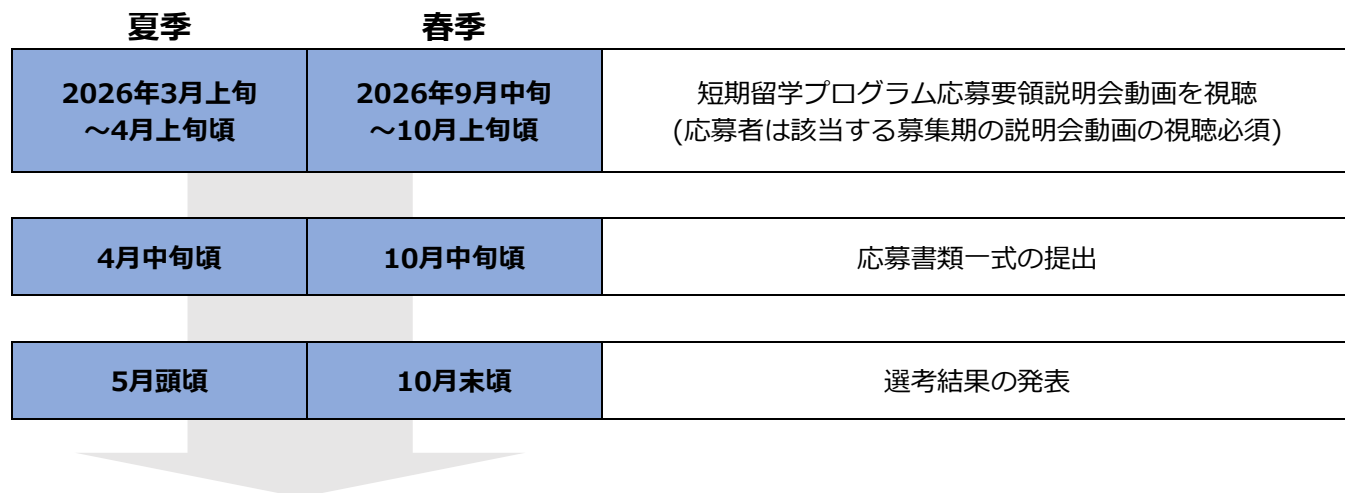


ポイント

- Point 1：単位付与対象！（全学部・1～3年生対象）
Point 2：南山大学での事前・事後授業で効果を最大化！
Point 3：多様な文化体験があり、グローバルな視野を培える！
Point 4：語学力に自信がない学生も歓迎！

学内手続きの流れ

（年は2026年度の例）



注意事項

- ・短期留学プログラムの研修先ラインナップは年度により変更となる場合があります。
- ・応募に際し、語学要件はありません。ただし、選考時の学内GPAが1.5以上であることが必要です。
- ・4年生以上は応募できません。
- ・応募者多数の場合は抽選となります。
- ・上記のプログラムに参加する場合は、履修登録が必須となります。

学部・学科別プログラム

国際センター主催短期留学プログラムと同様単位付与対象となっており、それぞれの学問領域に沿ったテーマで展開されているため学部の学びを深めることができます。

●人文学部 <人文学部異文化研修短期留学プログラム> @ニュージーランド/マレーシア

午前はレベル別に英語の「聞く・話す・読む・書く」の4技能を学び、午後は異文化体験プログラムに参加します。英語の運用能力だけでなく、異文化体験を通して、机上では得られない広い視野と行動力を獲得することを目指します。

●外国語学部 <海外フィールドワーク>

@アメリカ/イギリス/オーストラリア/スペイン/メキシコ/コロンビア/フランス/ドイツ/台湾/インドネシア

外国語学部のすべての学科において、「海外フィールドワーク」を開講しています。それぞれの留学先に3～4週間滞在し、提携校で授業や各種プログラムに参加すると同時に、現地でフィールドワークを行います。外国での学びや生活をとらえて、異文化理解力と問題解決力を高め、帰国後の学びにつなげます。

●経済学部 <経済英語海外研修> @オーストラリア

オーストラリア・クイーンズランド州の州都ブリスベンで、ホームステイをしながら、グリフィス(Griffith)大学付属語学学校で、4週間英語を集中的に学びます。午前はレベル別のクラスに分かれ、英語の4技能「聞く・話す・読む・書く」を総合的に学習します。午後は自然環境保護策を考えるツアーや先住民の芸術文化を学ぶアクティビティに参加し、短期的・長期的な視点で経済のあり方を考えます。

●経営学部 <ビジネス英語海外研修> @オーストラリア

オーストラリアのブリスベン市にあるGriffith English Language Institute(GELI)による4週間のプログラム。ブリスベンにはオーストラリアで3番目に人口の多い都市でありながらも自然豊かな土地です。研修が行われる8月は過ごしやすい気候です。午前中は英語授業を受講し、午後にはビジネス関連の特別アクティビティや企業訪問などが予定されています。現地でホームステイをし、週末はホスト・ファミリーとともに過ごします。

●法学部 <海外法文化研修> @オーストラリア/カナダ/韓国

午前中は、レベル別のクラスで英語や韓国語の勉強をします。午後には、週2・3回、裁判所や国会の見学、特別講義など南山大生向けのプログラムに参加します。韓南大学では大学の学生寮に宿泊し、他では現地でホームステイをします。マッコーリー大学では現地学生との交流プログラム、カルガリー大学では自然体験の小旅行といった、各大学の個性的なプログラムもあります。

●理工学部 <理工学海外研修> @アメリカ/マレーシア

「理工学海外研修」では、理工系(STEM)分野で必要となる英語力と国際的な実践力を磨きます。英語コミュニケーションの基礎を学び、STEM分野に特化したワークショップ、現地の研究室や企業の訪問など、専門性を軸としたカリキュラムが特徴です。さらに、現地の学生と連携し、異文化交流を通じて多様性への理解を深めます。夏(8月～9月)はマレーシア、冬(2月～3月)はアメリカの地で、将来のキャリアの糧となる広い視野と行動力を育みます。

●総合政策学部 <政策研修プログラム・海外研修プログラム(NAP)> @アジア6ヶ国・1地域

アジアの国・地域での2～4週間のプログラムです(通称NAP)。研修先は、韓国(韓南大学)、中国(東華大学)、台湾(国立成功大学)、ベトナム(タンロン技術学院)、タイ(コーンケン大学)、マレーシア(マレーシア科学大学)、フィリピン(アテネオ・デ・マニラ大学)で、集中語学学習(それぞれの言語や英語)やフィールド調査学習を行います。また語学学習のみならず、現地の同世代との交流や文化体験等もプログラムに含まれます。

●国際教養学部 <ASU Sustainability Program> @アメリカ

留学先はアメリカで最初に「School of Sustainability」を開設したアリゾナ州立大学(ASU)。2年次第2クォーターの約6週間、最先端のサステナビリティ・スタディーズを英語で学ぶのがこの留学の目的です。「卒業までに一度は海外で学びを深めよう!」をモットーとしている国際教養学部としては、長期留学予定者等を除いて、本プログラムに全員参加することを推奨しています。

※現在プログラム改正を予定しており、短期留学プログラムの内容も変更になる可能性があります。

注意事項

- ・ 学内手続きの流れや奨学金など、質問がある場合は各学部事務室に直接お問い合わせください。
- ・ 中には他学部生の参加を認めているプログラムもあります。また、年によって派遣先の国・地域が変更となったり、不開講となったりする場合があります。詳細は各学部事務室にお問い合わせください。

南山大学以外でも様々な留学プログラムが提供されています。こういった情報も積極的に調べることで、自分に合ったプログラムをより広い範囲から検討することができます。ただし、手続き・参加はすべて自己責任となるため、しっかりと情報を精査する必要があります。

国際センターからの情報提供として、Webで在学生向け学外団体によるプログラムページを設けています。

※最新情報はこちら⇒ https://office-a.nanzan-u.ac.jp/all/cie/seminar/external_program.htm

第2クォーター在学中在外学習制度

「南山大学学生留学規程」で定める留学期間(3ヶ月以上)に満たない期間、海外で実施されるサマープログラム等を履修し、その単位を本学の単位として認めるための枠組みとして、第2クォーター在学中在外学習制度を利用することができます。

ただし、学部・学科および国際センター主催の短期留学プログラムはこの制度の対象外となります。また、この制度を利用して在外学習を行う場合、第2クォーターにおける本学の履修登録は原則不可となります。

この制度を利用するためには、第2クォーターの授業開始日から定期試験予備日までの間に日本を出発し、第3クォーター開始前日までに帰国することが条件となります。

留学しようか迷っている段階でも、語学試験対策はできるだけ早めに始めることをおすすめします。語学スコアを上げることで、留学先大学の選択肢が広がります。

主要な英語試験について

TOEFL iBT と IELTS の違い

	TOEFL iBT	IELTS
使用英語	主にアメリカ英語	イギリス、オーストラリア、アメリカ等英語圏の様々な国の英語
受験形式	コンピューター形式	コンピューター形式 (ペーパー形式は2026年夏で終了)
受験時間	約2時間	約2時間45分
スピーキング	マイクに向かって話し録音する	面接官と1対1の面接形式
受験料	195米ドル(2026年4月時点)	27,500 円
受験会場	会場：名古屋含む主要都市 Home Edition：自宅	名古屋・東京・大阪・京都
試験制度	会場：土日に年80回以上 Home Edition：週4日24時間受験可能	ほぼ毎日(都市による)
身分証明書	パスポート他、学生証およびその他の本人確認資料でも可能	パスポートのみ ※外国籍で申し込む場合有効期限が3ヶ月以上残っている居住証明書(在留カードもしくは特別永住者証明書)も必要

※イギリス・オーストラリアへの留学を考えている方は、ビザ取得要件の観点からIELTSの方が良い場合もありますので、ご自身でよく調べるようにしてください。

英検や TOEIC は使えない？

南山大学の協定校の中には一部、英検やTOEICを語学力証明として出願に使用できるところもありますが、ほんの一握りです。海外留学ではアカデミック領域における4技能(Listening・Reading・Speaking・Writing)を総合的に測定することのできるTOEFL iBTまたはIELTSといった語学スコアを提出することが主流になっています。

自分の希望する留学先大学がどのような語学要件を課しているか留学先大学のWebページや募集条件一覧表で事前によく確認するようにしましょう。

IELTS 対策講座

IELTS指導に精通したネイティブ講師による徹底指導のもとで集中的に学習します。例年、夏期(8月下旬)と春期(2月下旬)に全6日間開講しています。受講学生からは、独学でIELTSの点数を上げるのは難しい面もあるので、留学の準備に役立つと思うといった声が多く聞かれ、満足度の高い講座です。

詳細については、募集の時期にPORTAの学生へのお知らせで周知します。

CEFR とは

CEFR(セファール)とは、Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessmentの略称で、日本語では「ヨーロッパ言語共通参照枠」と解釈されます。多くのヨーロッパの言語の語学試験の結果はこのCEFRレベルで示されます。また、その他の言語の試験の中にも、公式にスコアとCEFRレベルとの比較表を出しているものもあります。

CEFR レベルの基準

C2：母語話者と遜色のない熟練者

C1：優れた言語運用能力を有する者・上級者

B2：実務に対応できる者・準上級者 ←学部留学には基本的にB2以上が必要

B1：習得しつつある者・中級者

A2：学習を継続中の者・初級者

A1：学習を始めたばかりの者・初学者

交換留学応募に使える主な英語以外の言語の試験

言語	試験名	特徴
スペイン語	DELE	スペイン語圏への留学、就職などの際に語学のレベルを保証する試験で取得資格の有効期間は生涯有効
	SIELE	母国語、第二外国語としてスペイン語を話す学生・社会人のスペイン語能力を証明する試験 取得資格の有効期間は2年
フランス語	DELFI, DALF	フランス国民教育省が認定した唯一の公式フランス語資格で取得資格の有効期間は生涯有効
	TCF	受験生の受験時点のフランス語のレベルを6段階で評価 取得資格の有効期間は2年
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	A1(初心者向け)～C2(最高レベル)から自分のレベルに合った試験を受験。合格書の有効期間はなし
	ÖSD	コミュニケーションを主体とした、ドイツ語運用能力をはかる試験で、自分のレベルに合った試験を受験
中国語	漢語水平考試 HSK	中国語によるコミュニケーション能力の測定を第一の目的とした実用的な中国語検定で自分のレベルに合った試験を受験。中国の大学に入学するための証明としては、その有効期間は受験日から起算して2年
	華語能力試験 TOCFL	台湾華語学習者の日常生活における言語使用能力を測ることを目的とする試験
韓国語	韓国語能力試験 TOPIK	韓国政府が認定する唯一の韓国語能力試験。成績証明書の有効期間は2年
インドネシア語	インドネシア語検定試験	インドネシア語学習者のインドネシア語運用能力を総合評価し、インドネシア語のレベル向上を目的とする日本で唯一のインドネシア語の検定試験

学内選考時のスコア有効期間

交換留学および南山・ディズニープログラムの学内選考に語学試験のスコアを使用する場合は、所定の期間内に取得したものである必要があります。年間の実施回数が非常に少ない試験もありますので、試験実施スケジュールを確認し、早めに準備を進めましょう。

2027年秋派遣

<交換留学>

2025年8月1日～2026年10月25日取得分

<南山・ディズニープログラム>

2025年8月1日～2026年8月31日取得分

2028年春派遣

<交換留学>

2026年3月1日～2027年4月4日取得分 (予定)

<南山・ディズニープログラム>

2026年2月1日～2027年3月31日取得分 (予定)

取得日の考え方

	試験名	取得日
英語	TOEFL iBT	試験日
	IELTS	試験日
	TOEIC	試験日
	実用英語技能検定 (英検)	合格証書発行日
スペイン語	DELE	成績承認日
	SIELE	試験日
フランス語	DELFI, DALF	試験日
	TCF	試験日
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	試験日
	ÖSD	試験日
中国語	漢語水平考試 (HSK)	試験日
	華語能力試験 (TOCFL)	試験日
韓国語	韓国語能力試験 (TOPIK)	成績発表日
インドネシア語	インドネシア語検定試験	試験日

・語学試験に関する最新情報は、自分でよく確認してください。

・上記にない試験の場合は、受験前に国際センター事務室へご相談ください。

外国語能力試験受験料補助制度

交換留学などを目指す学生を支援するため、対象の外国語能力試験を受験した学生に対し、受験料の一部を補助する制度です。留学に必要なスコア達成までに複数回受験することになる可能性もありますが、この制度を使えば受験料の負担を軽減できます。

ぜひ積極的に活用し、留学への一歩を踏み出しましょう。

対象試験

直近1年間の「大学別募集条件一覧」に記載されている試験のうち、1回あたりの受験料が10,000円(税込)以上のものの※。

※実用英語技能検定(英検)およびTOEICは対象外です。

補助金額

<通常受験分※>

1回の受験につき10,000円

※南山大学入学前受験分は補助申請対象外となります。

<1年生早期受験分>

学部1年生が入学年度の4月1日～7月31日までに受験し、当該年度の9月に申請した場合は、1回の受験につき、最大25,000円(受験料が25,000円未満の場合は実費)を補助します。

申請期間

<通常受験分※>

	補助対象試験受験期間	Web申請	Web書類提出	補助金額振込
7月申請	前年7月1日～当年6月30日	7月初旬	7月中旬	8月以降
1月申請	前年1月1日～当年12月31日	1月中旬	1月下旬	2月以降

<1年生早期受験分>

	補助対象試験受験期間	Web申請	Web書類提出	補助金額振込
9月申請	入学年度4月1日～7月31日	9月初旬	9月中旬	10月以降

申請方法

詳細は募集回ごとに PORTA にてお知らせしますので、申請時期が近づいたら PORTA をよくご確認ください。なお、申請には試験実施団体が発行する領収書が必要になります。発行までに日数を要する場合がありますので、申請期限に間に合うよう、早めに準備しておきましょう。

留学のための奨学金

南山大学では派遣留学生(=交換留学生・認定留学生)向けに「南山大学派遣留学奨学金」を用意しています。

また、外国政府・学外の団体等が奨学金を用意していることもあります。年度によって応募条件が異なることもありますので、最新の情報をご自身で確認するようにしてください。

ただし、留学計画にあたっては、まずは奨学金に頼らない留学資金プランを立てることが重要ですのでご注意ください。

派遣留学奨学金(学内奨学金)

南山大学が用意している学内留学奨学金は総称して「南山大学派遣留学奨学金」と呼ばれ、派遣留学生である交換留学および認定留学の学生のみ応募することができます。なお、それぞれ**学内選考(審査)があります**。

支給・貸与金額

(1) 留学給付奨学金 (返還不要)

30万円(原則)

(2) 留学奨励奨学金 (返還不要)

【交換留学】 1セメスター留学…………… 10万円

2セメスター(1年)留学…………… 20万円

【認定留学】 3ヶ月(90日) 以上 8ヶ月(240日) 未満…………… 15万円

8ヶ月(240日) 以上…………… 30万円

(3) 留学貸与奨学金 (要返還)

貸与金額：30万円、50万円、100万円のうちのいずれかを選択

＜留学貸与奨学金の留意点＞

- ・受給手続きの際に、連帯保証人(原則父母)の印鑑証明書の原本の提出が必要です。
- ・留学貸与奨学金を借りた学生は、卒業年度に返還説明会への出席が必須となります。
- ・卒業時に学生自身が本学へ一括返還する場合は無利子ですが、奨学ローンへの借り換えを行う場合は、返還時に提携銀行の定める利子が発生します。借り換えができない時は一括返還していただきます。

スケジュール

		応募時期	結果通知時期	支給時期
秋派遣	交換留学	出発年の4月頃	出発年の6月頃	出発年の7～8月頃
	認定留学	(正式認定手続きと同時)	(正式認定通知受領と同時)	
春派遣	交換留学	出発前年の4月頃	出発前年の11月頃	出発前年の12月頃
	認定留学	出発前年の10月頃	出発年の6月頃 (※留学開始後)	出発年の7-8月頃 (※留学開始後)

学外奨学金

さまざまな学外団体が留学のための奨学金を提供していますが、原則として各自の責任で情報収集・手続きをすることになります。一方、大学取りまとめの奨学金に応募する場合は、国際センターからの案内に従って手続きを進める必要があります。

なお、奨学金によっては他の奨学金との併願・併給を認めていない団体もあります。複数の奨学金への応募を考えられている場合は、必ず各奨学金の要項をよく確認してください。また、南山大学での就学にかかる奨学金を受給している場合は、留学のための奨学金に応募する前に奨学金支給団体や大学の奨学金担当窓口(学生課)へ必要な手続きを確認してください。

国際センターからの情報提供として、在学生向け学外奨学金情報を Web ページにて公開しています。

※最新情報はこちら⇒https://office-a.nanzan-u.ac.jp/all/cie/scholarship/scholarship_currentstudents.htm

以下、主な大学取りまとめの学外奨学金について紹介します。

トビタテ！留学 JAPAN

(1) 概要

本制度では、学生が自ら定めた明確な目的と意欲的な目標に基づき立案した諸外国等での実践活動^{*}を含む留学を支援しています。実践活動に焦点を当てた留学を支援することにより、多様な経験と自ら行動する体験の機会を提供します。また、学生は留学先において、日本や日本の地域の良さを発信する「アンバサダー活動」、留学中や帰国後に、留学で得た体験、意義や成果を積極的に発信し留学機運醸成に寄与する「エヴァンジェリスト活動」にそれぞれ取り組む必要があります。

※実践活動とは、座学や知識の蓄積型ではなく、「実社会との接点」から多様な学びを得ることができる学修活動(インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、プロジェクトベースラーニング、実験、実習に限らず、上記の趣旨に沿う多様な学修活動)のことを指します。

(2) 支給金額

1ヶ月あたり6万円から16万円 (2026年度実績。留学先国・地域や家計基準により異なります。)

(3) 応募要件

対象学生や留学計画の各要件については、トビタテ！留学JAPAN 大学生の留学のWebページをご確認ください。

○参照: <https://tobitate-mext.jasso.go.jp/univ/>

業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学金

(1) 概要

公益財団法人業務スーパージャパンドリーム財団による、学問の分野において海外で活躍しようとする若者に、海外での勉学の場合や自己啓発の機会を得るための資金を提供することにより、様々な日本の文化を諸外国に広めていく我が国の人材育成に貢献しようとする事業

(2) 支給金額

1ヶ月あたり15万円または20万円 (2026年度実績。留学先国・地域により異なります。)

(3) 応募要件

派遣留学生の要件等については、業務スーパージャパンドリーム財団のWebページをご確認ください。

○参照: <https://www.kobebussan.or.jp/overseas.php>

なお、財団の募集要件に照らし、南山大学の通算GPA3.3以上という基準を設けています。(2026年度実績)

(4) 留意点

- ・南山大学の協定校への交換留学(学部留学)をする方のみ応募可能です。コンソーシアム型交換留学、語学留学は対象外です。
- ・財団の要件により、南山大学での所定単位数相当の学習時間を確保できる留学計画である必要があります。

滞在先の手配

滞在先の主な種類は以下の通りです。

大学寮(学内・学外) / ホームステイ / アパート / シェアハウス etc.

手配のタイミングとして、出願と並行して行う場合もあれば、出願後に行う場合もあります。例年と異なることもあるので、留学先大学からの情報をよく確認の上、各自で手続きを進めてください。留学先によっては、寮を指定されることもあれば、自分で一から探さなければならない場合もあります。また、先着順であったり、寮の空きに制限があったりする等、必ず希望する宿舎に入居できるとは限りません。

いずれにせよ早めの情報収集を心がけてください。

ビザ・滞在許可の取得

留学先国・地域や留学期間、プログラム等によって、必要なビザの種類や申請手続き、所要日数等が異なります。留学先国・地域の大使館や領事館等の公式Webページや日本の外務省の公式Webページなどで最新情報を確認の上、必要書類の準備や面談の予約等を各自で進めてください。

また、入国してから現地の滞在許可の手続きを行う国・地域に留学する場合も、出発までに最新情報を確認の上、万全の準備をしてから出国してください。

ビザ手続きの遅延によって留学計画が崩れることのないよう、時間に余裕をもって手続きをしてください。

航空券

一般的には、留学先機関からの入学許可書および留学ビザを取得してから航空券を購入することが推奨されます。もしそれらの取得前に航空券を購入する場合は、自己責任でキャンセル・変更ポリシーをよく確認するようにしてください。

交換留学および認定留学の場合、留学先プログラム期間※開始日の7日前より前の渡航は特別な理由がない限り認められません。また、留学先プログラム期間終了日から7日後より後の帰国は、期日までに必要な手続きをして許可を得る必要があります。

※留学先プログラム期間についてはp.10参照

現地での決済方法

■クレジットカード

ほとんどの国で広く使用でき、買い物や飲食店での支払い、オンライン決済などに便利ですが、カードの利用には海外利用手数料がかかる場合がありますので、事前に確認しましょう。

■決済アプリ

Apple Pay, Google Pay, Samsung Pay などのモバイル決済サービスを利用した支払いも主流になっています。Alipay や WeChat Pay など特定の国や地域で普及しているものもあり、中国や東南アジアでは便利に利用ができます。

■現地での口座開設について

現地で銀行口座を開設することは、日常生活を便利にするためにとても重要です。適切な銀行を選択して口座開設するために、パスポートや学生ビザ、現地の連絡先等の提出が必要になることが一般的です。各国の銀行システムや規則が異なるので、口座開設前に情報をよく調べておくことをお勧めします。

■海外送金について

海外送金アプリを使用することで比較的安価な手数料で日本の口座から送金ができ、専用のカードを使って現地のATMから現金をおろすことができます。

徹底的に留学先の情報収集を行い、「自分の身は自分で守る」を実践してください。

留学中に起こり得るトラブル

■安全面

テロ、暴動、飲酒、大麻・ドラッグ、犯罪※、貴重品紛失、情勢悪化、自然災害

※犯罪については、被害だけでなく知らない間に加害者になるリスクもあります。

■身体面

病気、風邪・感染症、怪我、交通事故

■精神面

ストレス・うつ、ホームシック、勉学意欲喪失

留学中のメンタルヘルス

これまでにメンタルヘルスの問題が無かった人も、急激な環境の変化で調子を崩すことがあります。

■調子を崩す要因の例

- ・慣れない土地
- ・母語が通じない環境
- ・初めての一人暮らし / 家族以外との共同生活
- ・日本にいる家族や友達との距離
- ・文化的背景の異なる人々
- ・思い描いていた留学と現実のギャップ

■渡航前にできる予防策の例

- ・留学目的の明確化（「留学をする」という自分の意志の再確認）
- ・留学先の情報収集（SNS等の非公式な情報は取捨選択をしっかりと行う）
- ・外国語に慣れる（人間の脳はおのずと慣れてくる）
- ・留学先でできる趣味を見つける（自分なりの気分転換やストレス解消法を見つける）
- ・規則正しい生活を心がける（バランスの取れた食生活・十分な睡眠・適度な運動）

■不調を感じたときの対応策の例

- ・日本語が通じる友人と話す
- ・家族と話す
- ・留学先の信頼できる大人に相談する
- ・国際センター事務室に相談する
- ・危機管理サービスや加入している保険のカウンセリングを利用する

危機管理のために

<必ず現地で使用できる携帯電話番号・住所を南山大学に所定の方法で届け出る>

テロや自然災害などの緊急時に皆さんの安否を確認するために連絡をとれるようにしましょう。安全確認方法はご家族とも共有し、万が一の場合に連絡が取れないということがないように対策しましょう。

<日本語対応可能な海外旅行保険に加入する>

日本語対応が可能であることによって、伝達ミスや誤解が減り、正確かつ迅速に状況を理解してもらえます。補償内容や現地医療機関との調整なども日本語で対応できるため、安心して補償を受けることができるようになります。また、留学先大学によっては、大学指定の保険への加入が必須なことがあります。この場合、留学先大学が求める保険と日本語対応可能な保険に加入する必要があります。

南山大学では、「学研災付帯海外留学保険」をご紹介します。

<https://www.nes-web.co.jp/shop/insurance>

<感染症を防ぐための予防接種について>

留学先によっては、予防接種が求められる、または推奨される場合があります。情報を事前によく調べ、母子手帳等で自分の接種歴と照合し、接種が必要な場合は早めに医療機関を受診するようにしましょう。

<情報収集の徹底>

留学先国・地域の治安情報、犯罪の傾向と手口、衛生状況や流行病、医療体制は必ず渡航前に定期的に確認してください。情報収集の手段として、報道のこまめな確認、在外日本国大使館・領事館のWebページ閲覧、関連省庁や機関が発信する最新情報を確認、「たびレジ」や「海外安全アプリ」登録などが挙げられます。

たびレジについて

「たびレジ」とは、外務省からの最新の安全情報を日本語で受信できる海外安全情報無料配信サービスです。

現地の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、現地の大使館・総領事館では、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急事態が発生した場合、緊急事態の発生をメールでお知らせし、注意を呼びかけます。さらに、外務省海外安全ホームページに掲載されている危険情報・スポット情報・広域情報が更新されるごとにメールでお知らせします。また、LINEアカウントの連携を行うとLINEメッセージでも情報を受け取ることができます。

NEXUS-OSSMA サービスについて

OSSMAとは、派遣留学生を対象に南山大学が加入している危機管理サービスです。定期的な安否確認や現地で病気やケガをした場合に日本語で医療機関の紹介や予約をすることができるだけでなく、メンタルヘルスに関する相談も受けることができます。これらのサービスは24時間365日日本語で受けることができます。

留学と就職活動の両立

留学では、普段の学生生活では得られない特別な経験を得ることができます。留学による自身の成長をきちんと言語化しアピールすることができれば、就職活動における強みとなります。

一方で、留学する時期によっては、留学中に就職活動を行わなければならないケースや、時差の関係で現地の夜中にオンラインで説明会や面接に参加しなければならない場合があることも事実です。自分のなかで留学と就職活動の優先順位を考えたうえで、どのような留学計画を立てるべきか事前にキャリア支援課に相談し、留学中および留学後の就職活動についても十分に確認するようにしましょう。

○参照：キャリア支援課Webページ <https://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/>

情報収集に役立つリンク集

- ・ 南山大学国際センター 学外団体による留学関連イベント情報
https://office-a.nanzan-u.ac.jp/all/cie/seminar/external_seminar.htm
- ・ 日本学生支援機構(JASSO) 留学生支援
<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/index.html>
- ・ 海外留学情報サイト 留学準備・お役立ち情報
https://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/basic.html
- ・ トビタテ！留学JAPAN 大学生の留学
<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/univ/>
- ・ 外務省安全ホームページ
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

南山大学学生留学規程

(総 則)

第1条 南山大学学則第29条に定める本学学生の外国の大学への留学（以下「留学」という。）に関しては、この規程の定めるところによる。

(留学の認定)

第2条 留学しようとする者は、あらかじめ派遣留学の認定を受けなければならない。

② 派遣留学の認定は、国際センター委員会の作成した原案に基づき、関係学部教授会の議を経て、学長が行う。

(出願資格)

第3条 派遣留学の認定を受けようとする者は、次の各号の条件を満たすものでなくてはならない。

- 1 本学に1年以上在学していること。
- 2 留学目的および留学計画が適切であること。
- 3 学業成績ならびに人物考課が優秀であること。
- 4 外国語の研修を目的とする場合を除き、十分な外国語の能力を有すること。
- 5 原則として留学する大学の入学許可（書）を有すること。

(留学手続)

第4条 派遣留学の認定を受けるためには、「留学願」、「留学計画書」、「入学許可書」（写し）のほか、国際センター委員会が求める書類を提出しなければならない。

第5条 留学した大学で履修した授業科目について本学における単位認定を受けようとする者は、留学前に所定の手続を行わなければならない。

(留学期間)

第6条 留学期間は、3か月以上とする。ただし、2年を超えることはできない。

第7条 前条の留学期間のうち、修業年限への算入は、1年を限度とする。

(授業料および奨学金)

第8条 派遣留学生は、留学期間中も授業料その他の学生納入金を、全額納入しなければならない。

第9条 派遣留学生に対する奨学金の支給については、別に定める。

(授業科目履修登録)

第10条 派遣留学生は、教務委員会の承認を受けて、授業科目の履修登録を延期することができる。

第11条 留学が年度途中から始まり、当該年度を超える場合、留学前本学で履修中の授業科目を留学終了後継続して履修しようとする者は、あらかじめ所定の手続をしなければならない。

(帰国届)

第12条 留学を終えて帰国したときは、直ちに所定の帰国届を提出しなければならない。

(単位の認定)

第13条 留学中に履修した授業科目の単位につき、本学における単位認定を受けようとする者は、

留学先大学の発行する次の各号の文書を添付の上、教務委員会に申請しなければならない。

- 1 当該授業科目の成績証明書あるいはそれに代わる文書
 - 2 当該授業科目の時間数および単位数を証明する文書
 - 3 その他教務委員会が提出を求める資料
- ② 単位認定の判定に際し必要がある場合は、試験を行う。
- ③ 単位換算は、留学先大学の認定した単位数とは別に、その実質的履修時間数を考慮して行う。
- ④ 認定する単位数は、30単位を限度とする。
- ⑤ 認定の方法については、別に定める。

(留学の認定の取り消し)

第14条 派遣留学の認定を受けた者が以下の各号に該当する場合は、派遣留学の認定を取り消すものとする。

- 1 留学前または留学中に、著しく人権を侵害する行為をした場合
 - 2 留学前または留学中に、犯罪行為等、社会の秩序を乱す行為をした場合
 - 3 留学前または留学中に、学生の本分にそむき、本学の名誉を汚す行為をした場合
 - 4 南山大学学則および規程に違反する行為をした場合
 - 5 留学先国の法律または留学先大学の規程に違反する行為をした場合
 - 6 留学前または留学中に、休学または退学の願い出をし、学長の許可を得られた場合
- ② 派遣留学の認定の取り消しは、国際センター委員会の作成した原案に基づき、関係学部教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、昭和59年4月1日から施行する。
- 2 学生の留学に関する内規（昭和48年2月6日施行）は、廃止する。
- 3 大学院学生の留学に関しては、この規程を準用する。

附 則

この規程の改正は、昭和60年2月5日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2008年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2010年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2011年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2017年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2022年4月1日から施行する。

Q. 何年生でも留学に行くことができますか？

A. 交換留学・認定留学は最短で2年次の秋から行くことができ、学年の上限はありません。休学留学は利用する留学エージェントや留学先大学のルールに従ってください。短期留学の場合は、プログラムによって異なりますが、1年次の夏から参加できる場合もあります。

高年次での留学計画を立てる場合、卒業要件を必ず確認するようにしてください。

Q. 留学準備はどれくらい前に始めたら良いですか？

A. 交換留学の場合、学内選考が出発の約1年前に行われるため、情報収集や語学試験といった準備を2年～1年ほど前から始めることを推奨します。認定留学や休学留学の場合も、1年以上前には準備を始めると良いでしょう。

Q. 外国語が得意ではありませんが、留学に行っても大丈夫ですか？

A. 留学先大学によって語学要件が異なります。語学要件を満たしていれば基本的には大丈夫です。語学要件にかかわらず、留学が決まった後も語学学習を継続することが重要です。

Q. 留学が決まったら、国際センターからどんなサポートをしてもらえますか？

A. 交換留学の場合、留学前の情報提供や留学先大学への出願などのサポートをします。留学中については、交換留学・認定留学ともに、トラブル発生時の相談対応や危機管理サービスを通じた安全管理などを行います。

Q. 留学経験者からお話を聞いてみたいのですが、どうしたらいいですか？

A. 留学報告書の閲覧のほか、留学ビギナーズフェアや留学経験者(NaSIP)による留学個別相談やイベントなどの機会を利用することで、直接お話を聞くことができます。各種イベントの情報は、PORTAや国際センターの公式Instagram(@nanzan_intl)でお知らせしていますので、これらの機会を積極的に活用してください。

お問い合わせ先

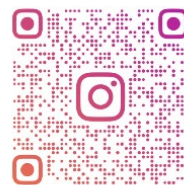
南山大学**国際センター事務局 派遣留学係**

【Email】 study-abroad@nanzan-u.ac.jp ※メールには学生番号と氏名を明記してください

【Phone】 052-832-3123

【Web】 <https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/>

【Instagram】 @nanzan_intl



NANZAN_INTL